

珍しく雪になった。春一番が吹いたというのに、冬が巻き返しに出ているのだろうか。窓外に、霏霏と降りしきる雪片を見ながら、五月号の奥付を書く。月刊雑誌とは、奇妙なものだ。

然し、考えてみれば、私どもは「幼児教育」という名の営みにおいて、同じようなことをくり返しているのではないか。いま、「四才」の彼らと対しながら、私どものまなざしは、時として何年か先だけを注視する。彼らのはずむ呼吸や汗のにおいにもまして、「大きくなったときに困らないこと」が気になる。空想の未来が、子どもたちの「いま」を凌駕するのだ。

しかも、私どもは、何故かそのことのおかしさと空しさに気付きにくい。雪降りの日に、五月の保育を語ることの不自然さは自覚されても、四才の子どもを大人の時点に直結させることの不確かさ

は、意識されにくいというのだろうか。彼らが大人になったとき、その世界が、私どもの予想の範囲内にあるという保証は何一つ与えられていないというのに。

そこで、五月の風を想定することを止めて、とりあえずは、窓外の雪を見つめてみる。高層ビルの外に降る雪は、大まかに、二通りの動き方をしている。私に近い手前の雪は、頼りなげに浮遊し、横に流れて、地上に真すぐに降りていかないうちに見える。然し、その向こう側で、遠くに降る雪は、ちらつきながらもほば真すぐに下降し、地上を白く埋めていく。ある程度の広さで抱えるとき、雪は截然と二つの動きを示して、遠近法的な把握を、さながらにモデル化して見せてくれる。つまり、「いま」を熟視するということだが、遠くを見ることでもあるということだ。私どもは、子どもたちの「いま」を熟視しているだろうか。(H)

幼児の教育 第八十二巻 第五号

五月号 ◎

定価三〇〇円

昭和五十八年 四月二十五日 印刷
昭和五十八年 五月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 真
発行人

東京都文京区大塚二ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

●本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。